

Ⅲ 調査結果

イ. 高血圧症

高血圧症については、「ある」が22.3%、「ない」が67.9%となっています。
 性別にみると、男性は「ある」が26.8%と、女性より8.3ポイント有意に高くなっています。
 H24年調査と比較すると、大きな差はありません。

図 49-イ a. 1 健診や医療機関での指摘_高血圧症〔全体・性別〕**

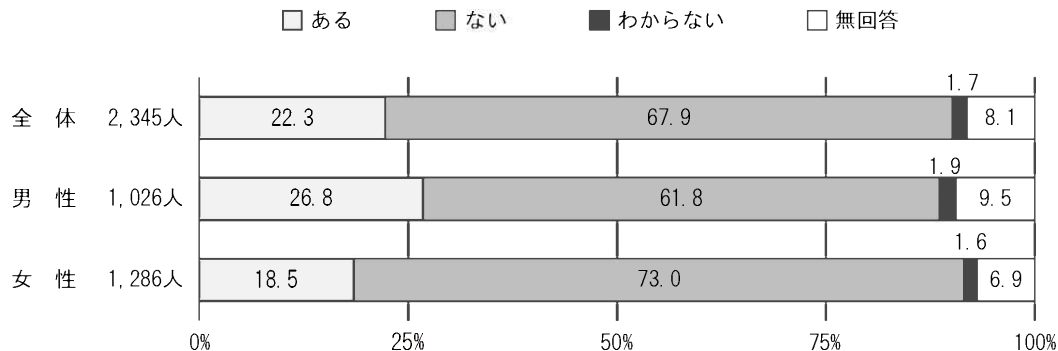
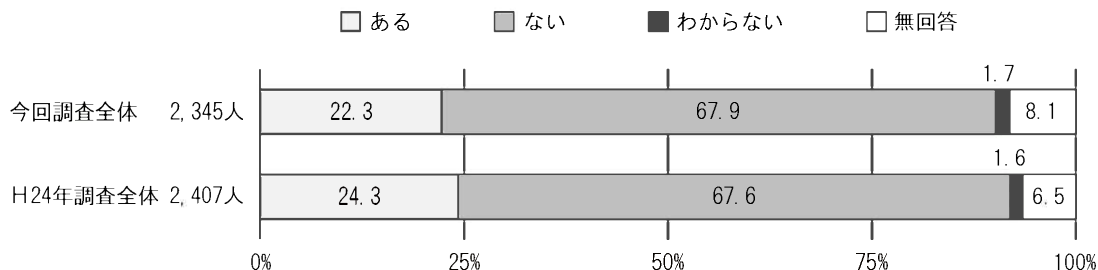
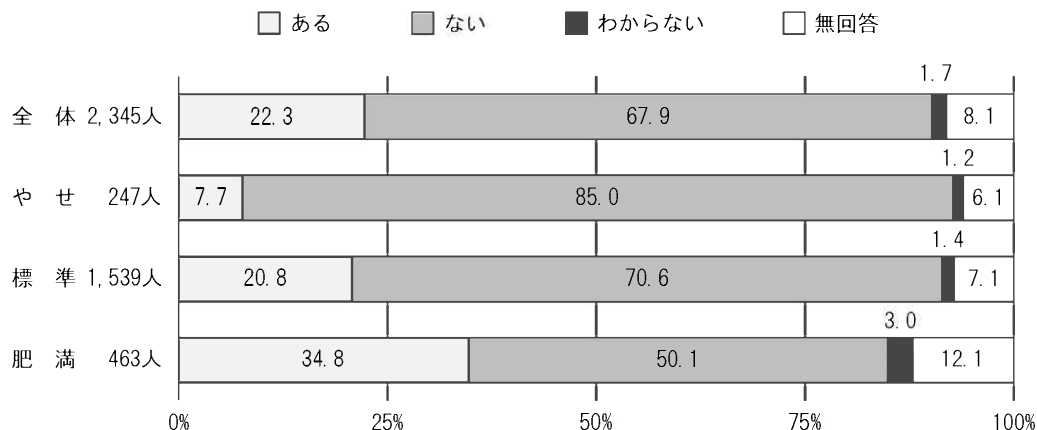


図 49-イ a. 2 健診や医療機関での指摘_高血圧症〔経年比較〕



高血圧症の指摘について肥満度別にみると、「ある」が「肥満」で34.8%と他の肥満度より有意に高く、「ない」が「やせ」で85.0%、「標準」で70.6%と有意に高くなっています。

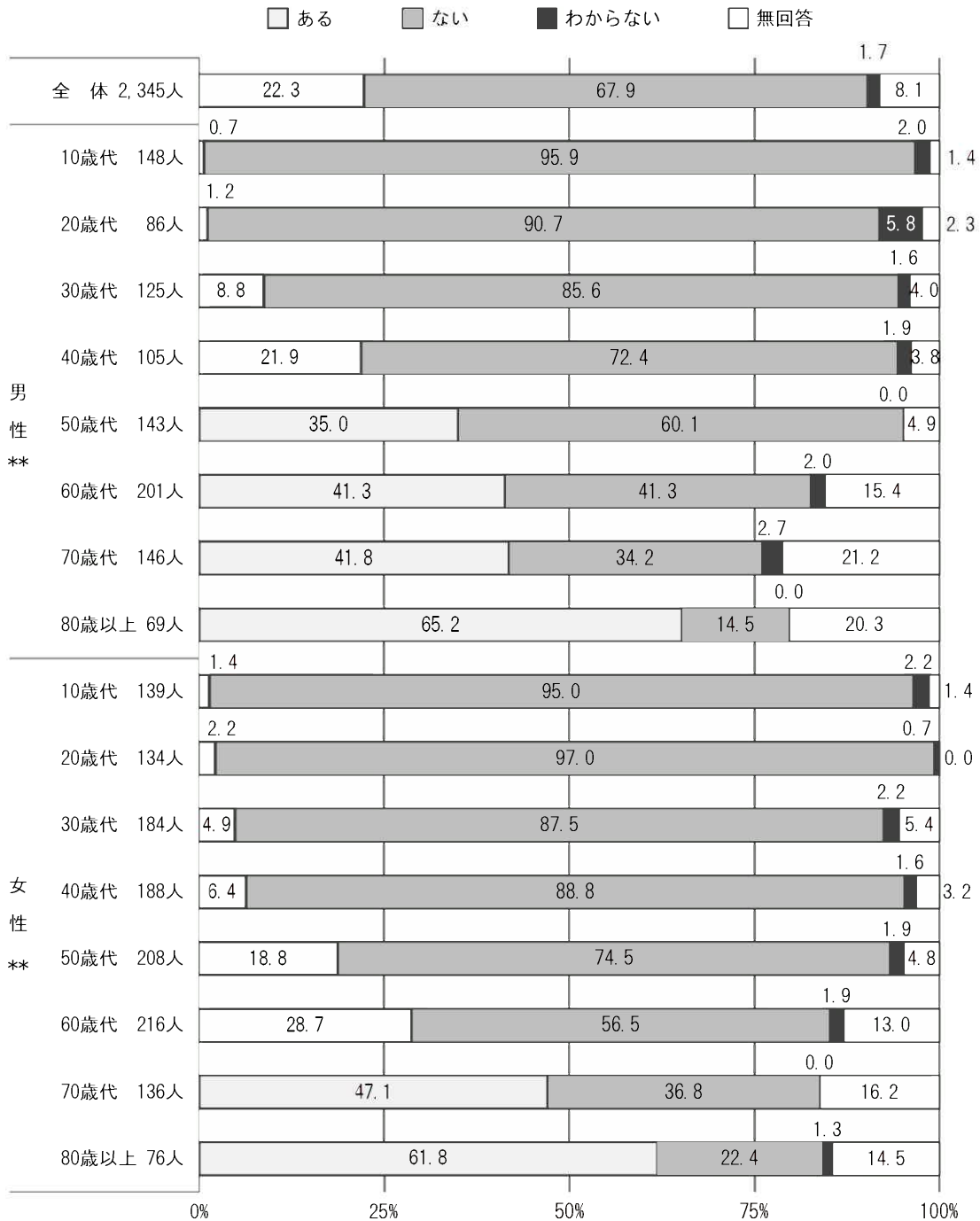
図 49-イ a. 3 健診や医療機関での指摘_高血圧症〔肥満度別〕**



高血圧症の指摘について性・年代別にみると、男性では「ある」が「50歳代」で35.0%、「60歳代」で41.3%、「70歳代」で41.8%、「80歳以上」で65.2%と他の年代より有意に高く、「ない」が「10歳代」で95.9%、「20歳代」で90.7%、「30歳代」で85.6%と有意に高くなっています。

女性では「ある」が「60歳代」で28.7%、「70歳代」で47.1%、「80歳以上」で61.8%と有意に高く、「ない」が「10歳代」で95.0%、「20歳代」で97.0%、「30歳代」で87.5%、「40歳代」で88.8%と有意に高くなっています。

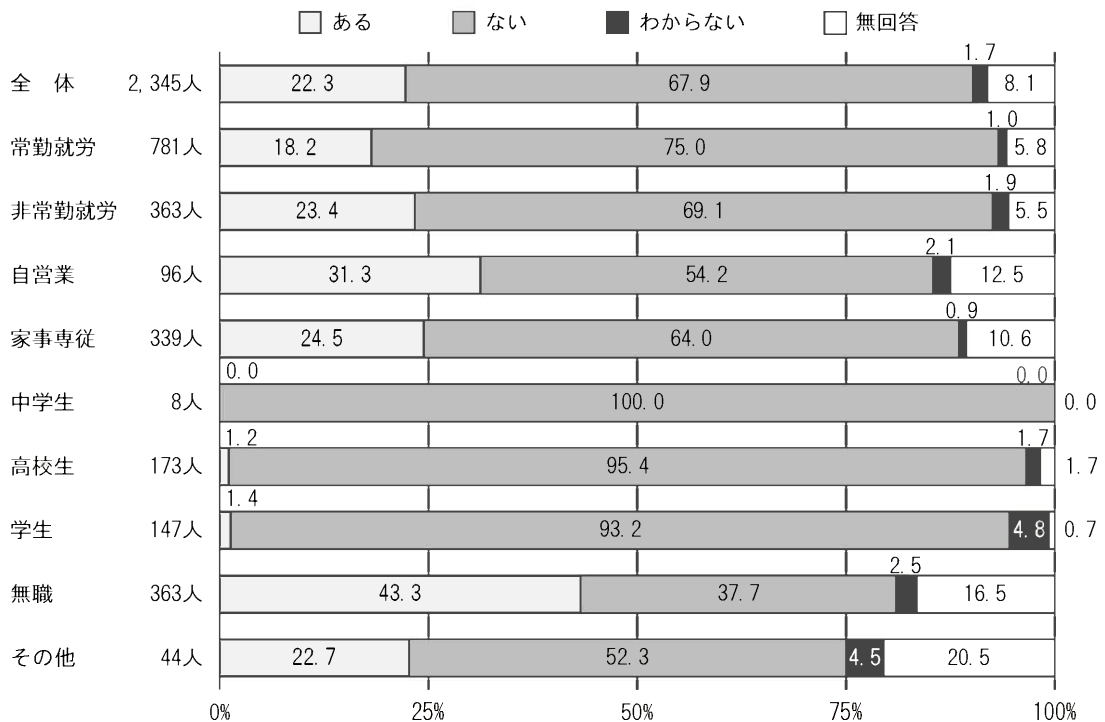
図 49-イ a. 4 健診や医療機関での指摘_高血圧症〔性・年代別〕



Ⅲ 調査結果

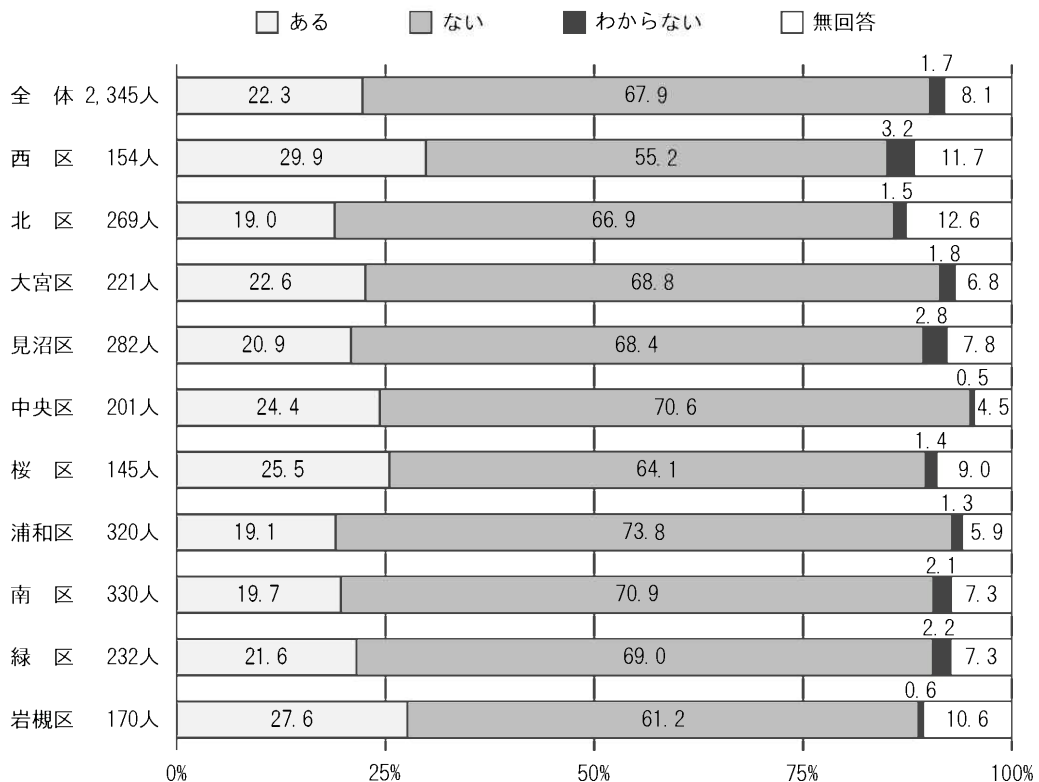
高血圧症の指摘について就労状況別にみると、「ある」が「自営業」で 31.3%、「無職」で 43.3%と他の就労状況より有意に高く、「ない」が「常勤就労」で 75.0%、「高校生」で 95.4%、「学生」で 93.2%と有意に高くなっています。

図 49-イ a. 5 健診や医療機関での指摘_高血圧症〔就労状況別〕**



高血圧症の指摘について居住区別にみると、「ある」が「西区」で 29.9%、「岩槻区」で 27.6%となっており、「ない」が「浦和区」で 73.8%、「南区」で 70.9%となっています。

図 49-イ a. 6 健診や医療機関での指摘_高血圧症〔居住区別〕



治療状況については、「過去から現在にかけて継続的に受けている」が74.3%と最も高く、次いで「これまでに治療を受けたことがない」が10.0%となっています。

治療状況を性別にみると、男性は「過去から現在にかけて継続的に受けている」が78.9%と、女性より9.2ポイント有意に高くなっています。

H24年調査と比較すると、大きな差はありません。

図 49-イ b. 1 指摘後の治療状況_高血圧症〔全体・性別〕**

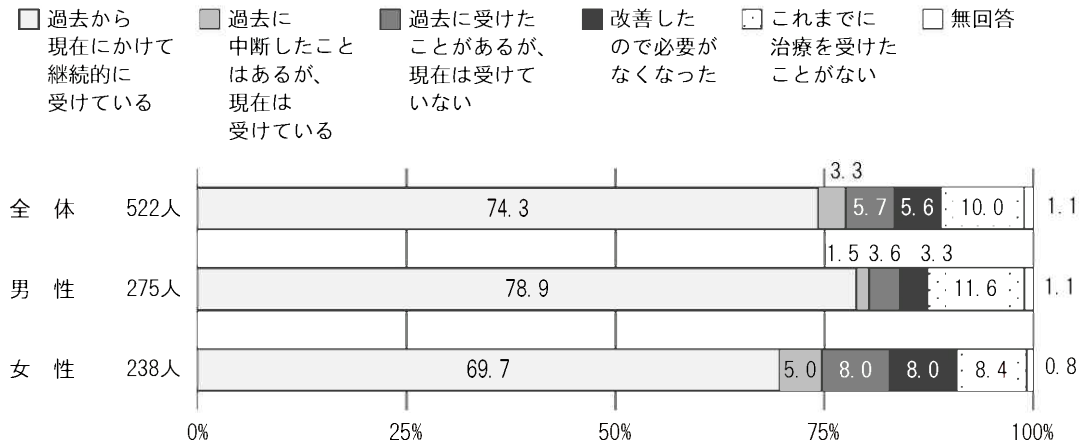
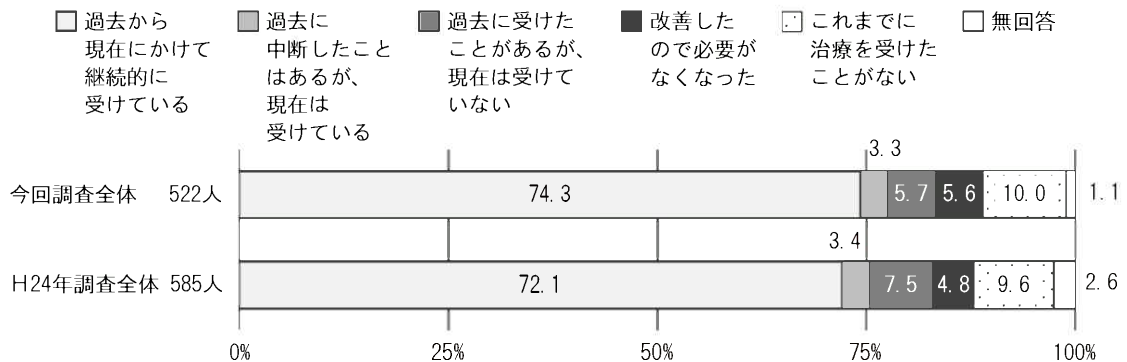
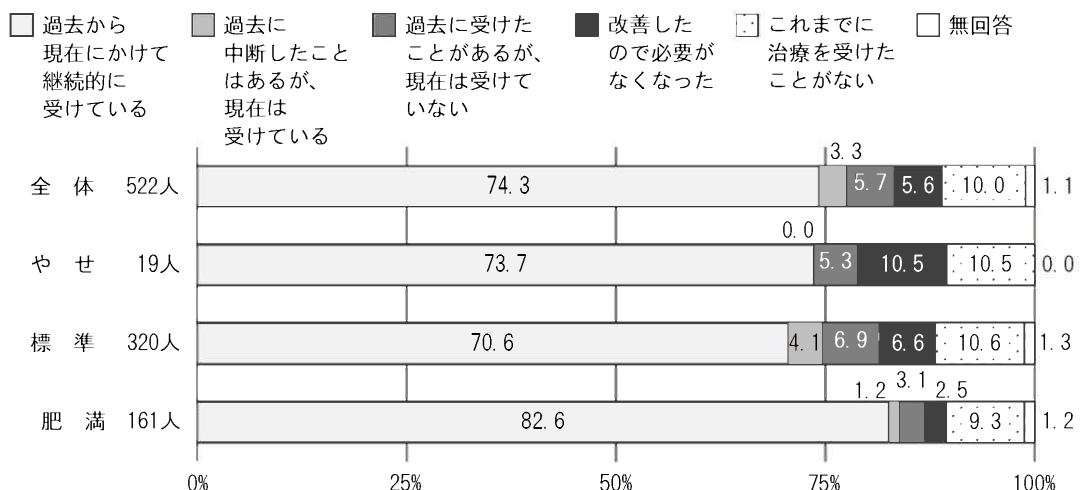


図 49-イ b. 2 指摘後の治療状況_高血圧症〔経年比較〕



高血圧症の治療状況を肥満度別にみると、「過去から現在にかけて継続的に受けている」が「肥満」で82.6%となっています。

図 49-イ b. 3 指摘後の治療状況_高血圧症〔肥満度別〕

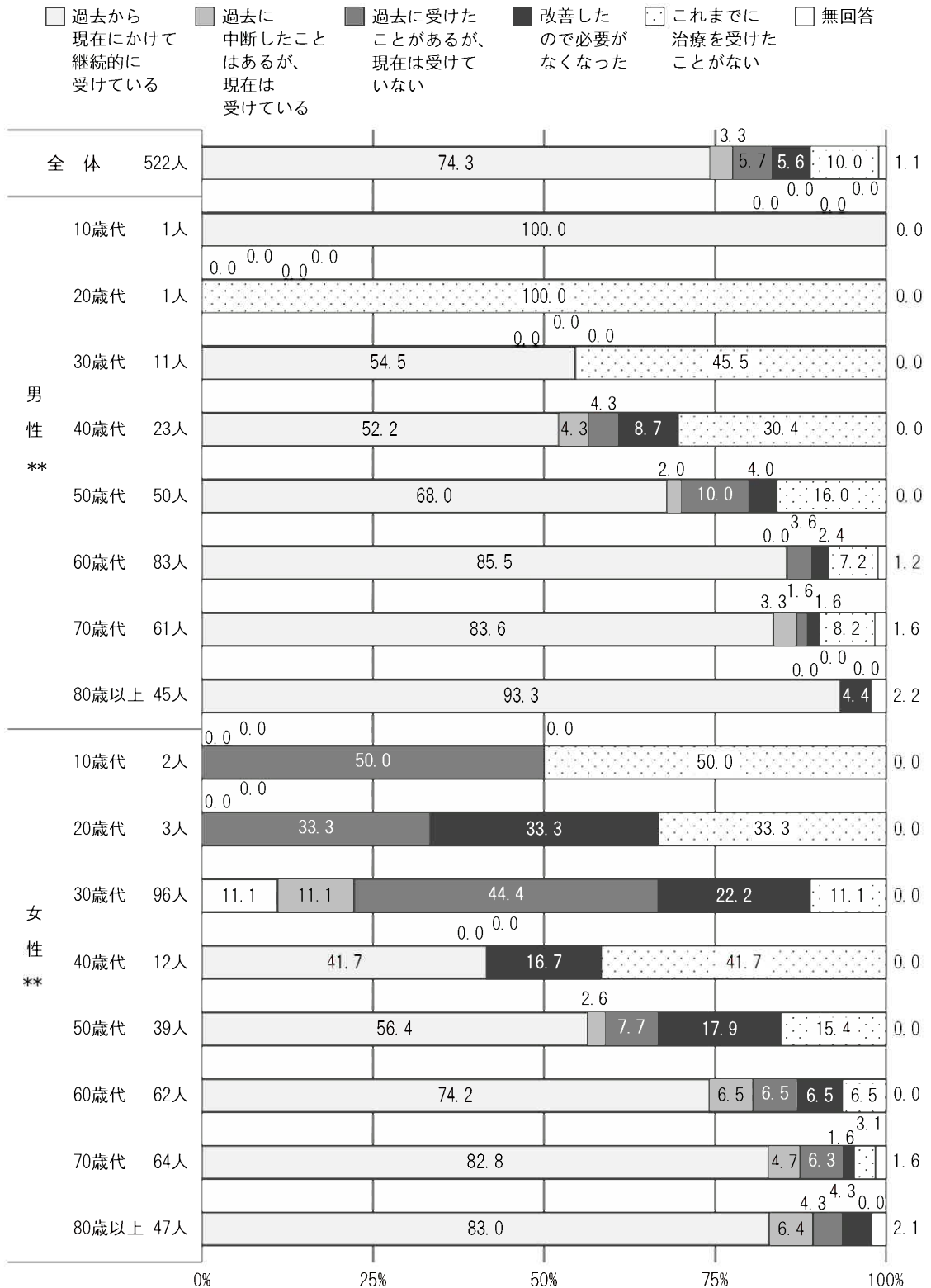


Ⅲ 調査結果

高血圧症の治療状況を性・年代別にみると、男性では「これまでに治療を受けたことがない」が「30歳代」で45.5%、「40歳代」で30.4%と他の年代より有意に高く、「過去から現在にかけて継続的に受けている」が「80歳以上」で93.3%と有意に高くなっています。

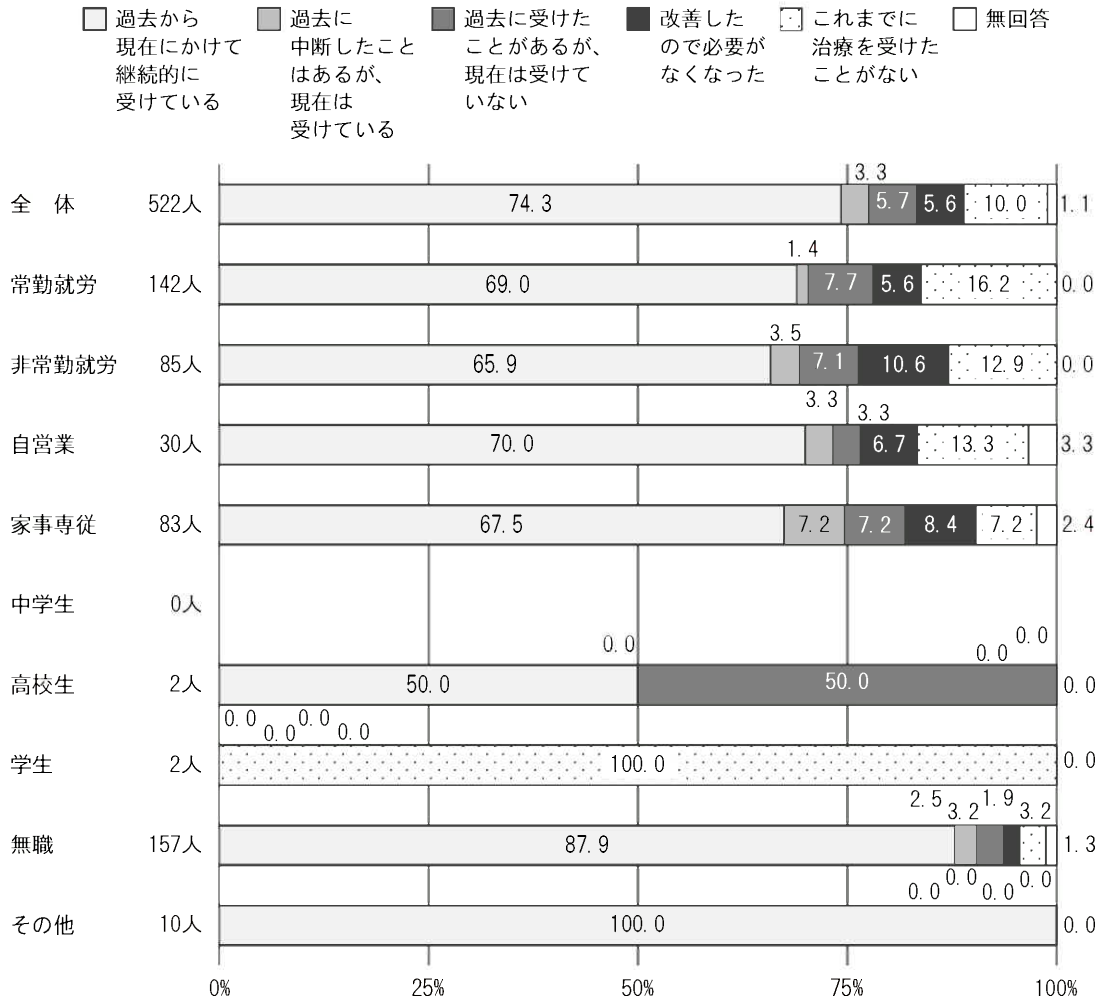
女性では「過去から現在にかけて継続的に受けている」が「70歳代」で82.8%、「80歳以上」で83.0%と有意に高くなっています。

図 49-イ b. 4 指摘後の治療状況_高血圧症〔性・年代別〕



高血圧症の治療状況を就労状況別にみると、「過去から現在にかけて継続的に受けている」が「無職」で 87.9%となっており、「これまでに治療を受けたことがない」が「常勤就労」で 16.2%、「自営業」で 13.3%となっています。

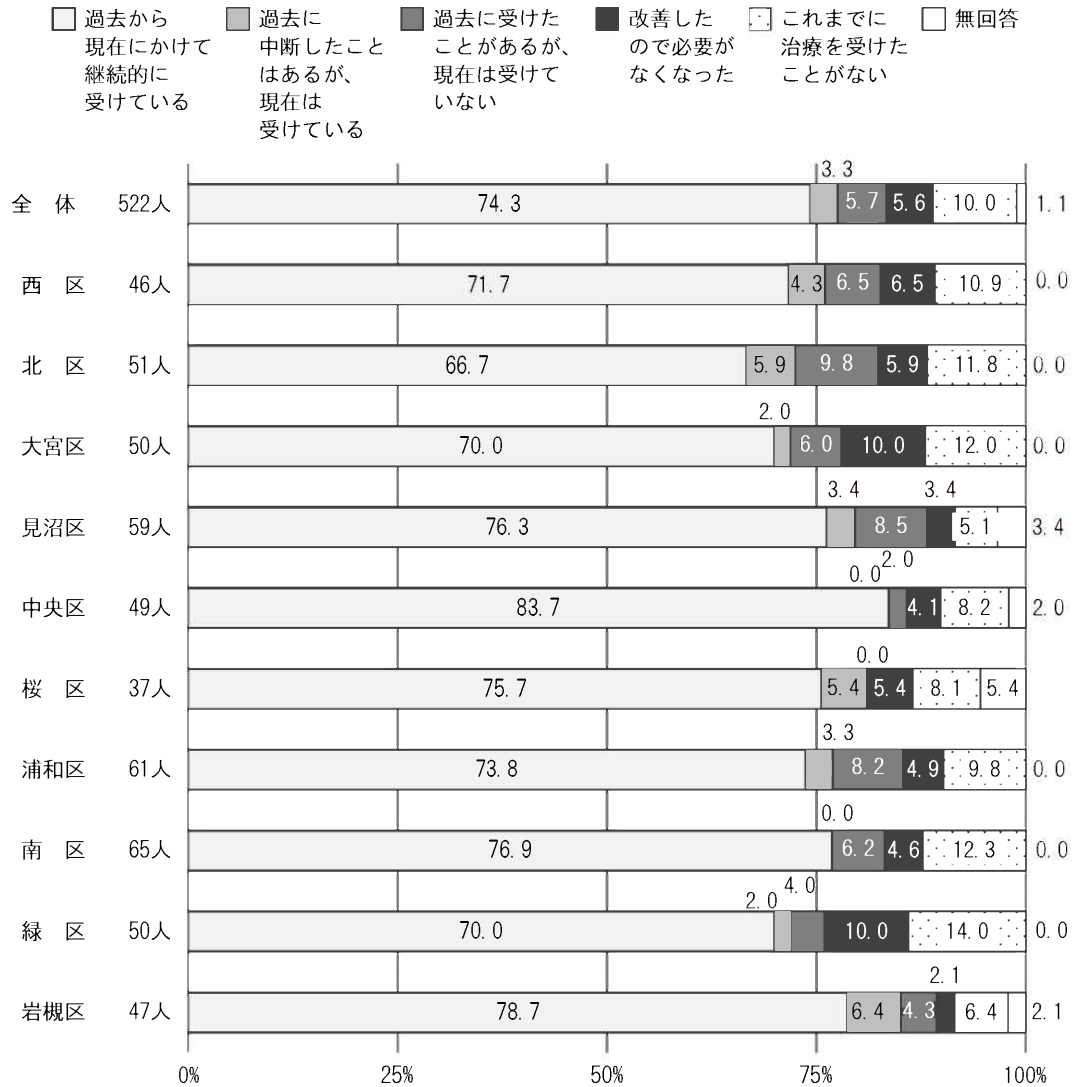
図 49-イ b. 5 指摘後の治療状況_高血圧症〔就労状況別〕



Ⅲ 調査結果

高血圧症の治療状況を居住区別にみると、「過去から現在にかけて継続的に受けている」が「中央区」で83.7%、「岩槻区」で78.7%となっており、「これまでに治療を受けたことがない」が「緑区」で14.0%となっています。

図 49-イ b. 6 指摘後の治療状況_高血圧症〔居住区別〕



ウ. 脂質異常症

脂質異常症については、「ある」が26.2%、「ない」が62.9%となっています。
性別にみると、男性は「ない」が59.6%と、女性より6.0ポイント低くなっています。
H24年調査と比較すると、大きな差はありません。

図 49-ウ a. 1 健診や医療機関での指摘_脂質異常症【全体・性別】

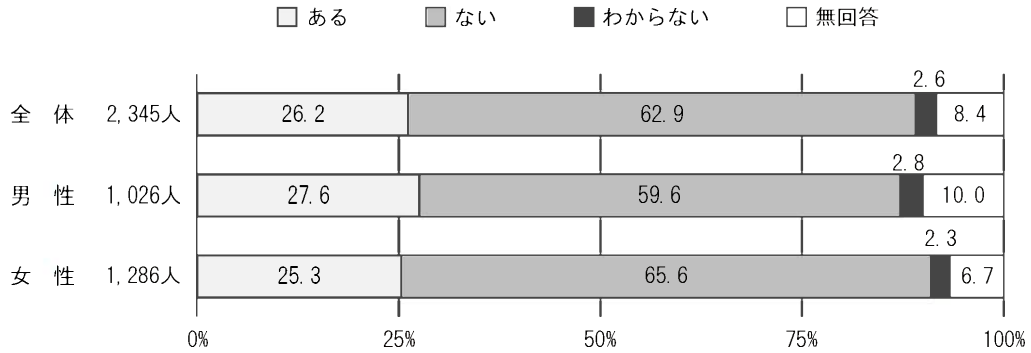
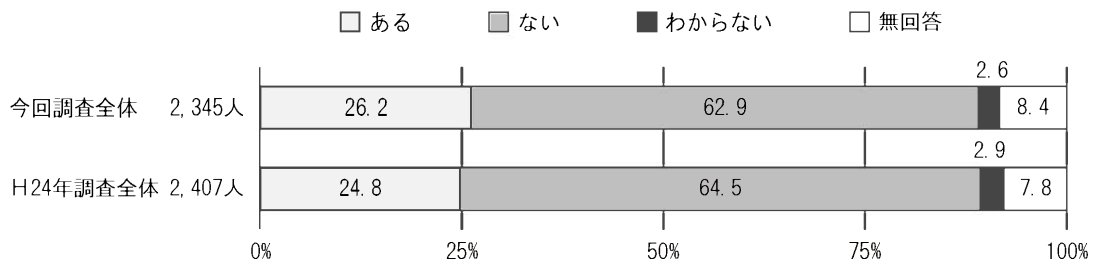
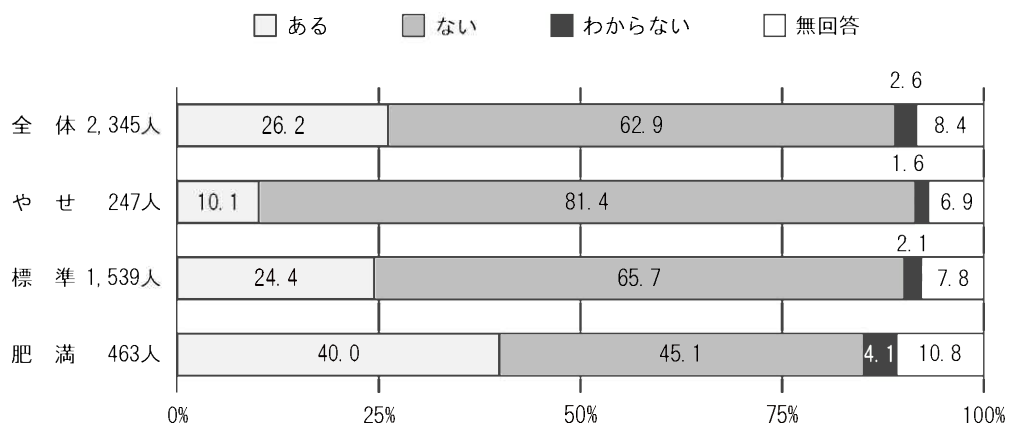


図 49-ウ a. 2 健診や医療機関での指摘_脂質異常症【経年比較】



脂質異常症の指摘について肥満度別にみると、「ある」が「肥満」で40.0%と有意に高く、「ない」が「やせ」で81.4%、「標準」で65.7%と他の肥満度より有意に高くなっています。

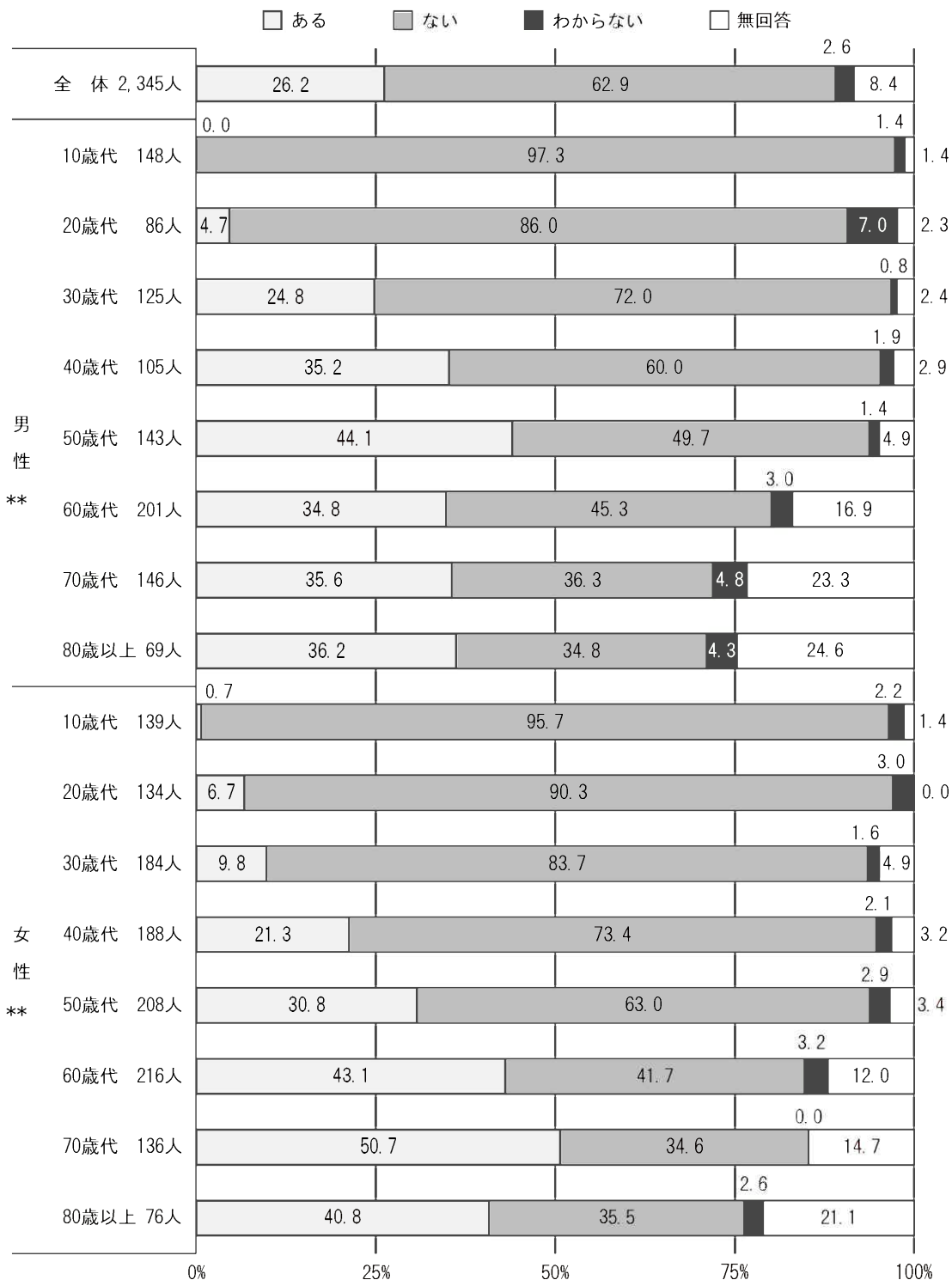
図 49-ウ a. 3 健診や医療機関での指摘_脂質異常症【肥満度別】**



Ⅲ 調査結果

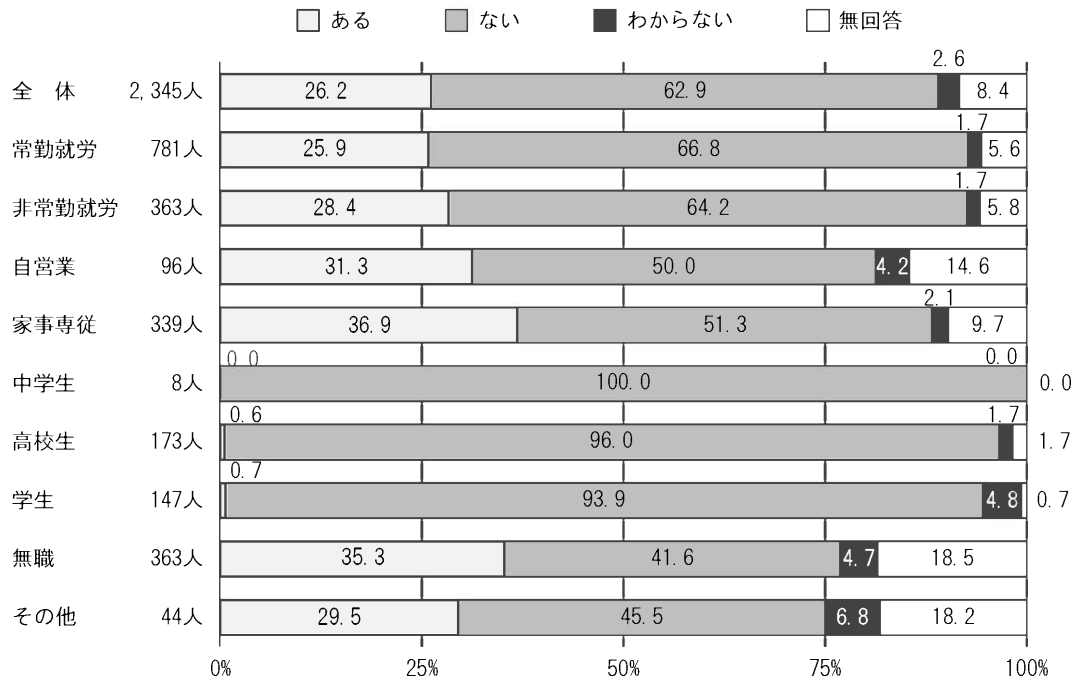
脂質異常症の指摘について性・年代別にみると、男性では「ある」が「50歳代」で44.1%、「60歳代」で34.8%、「70歳代」で35.6%、「80歳以上」で36.2%と他の年代より有意に高く、「ない」が「10歳代」で97.3%、「20歳代」で86.0%と有意に高くなっています。
 女性では「ある」が「60歳代」で43.1%、「70歳代」で50.7%、「80歳以上」で40.8%と有意に高く、「ない」が「10歳代」で95.7%、「20歳代」で90.3%、「30歳代」で83.7%と有意に高くなっています。

図 49-ウ a. 4 健診や医療機関での指摘_脂質異常症〔性・年代別〕



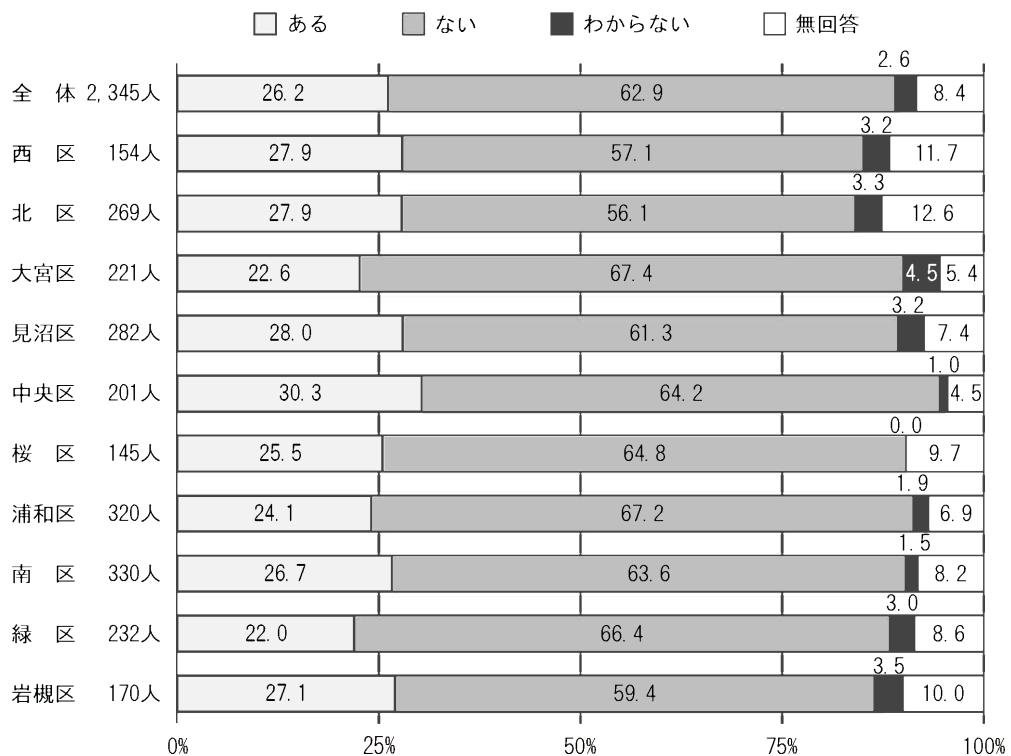
脂質異常症の指摘について就労状況別にみると、「ある」が「家事専従」で36.9%、「無職」で35.3%と他の就労状況より有意に高く、「ない」が「高校生」で96.0%、「学生」で93.9%と有意に高くなっています。

図 49-ウ a. 5 健診や医療機関での指摘_脂質異常症〔就労状況別〕**



脂質異常症の指摘について居住区別にみると、「ある」が「中央区」で30.3%、「見沼区」で28.0%となっており、「ない」が「大宮区」で67.4%、「浦和区」で67.2%となっています。

図 49-ウ a. 6 健診や医療機関での指摘_脂質異常症〔居住区別〕



Ⅲ 調査結果

治療状況については、「過去から現在にかけて継続的に受けている」が50.7%と最も高く、次いで「これまでに治療を受けたことがない」が28.7%となっています。

治療状況を性別にみると、女性は「これまでに治療を受けたことがない」が31.9%と、男性より6.5ポイント高くなっています。

H24年調査と比較すると、「過去から現在にかけて継続的に受けている」が7.7ポイント増加しています。

図 49-ウ b. 1 指摘後の治療状況_脂質異常症〔全体・性別〕

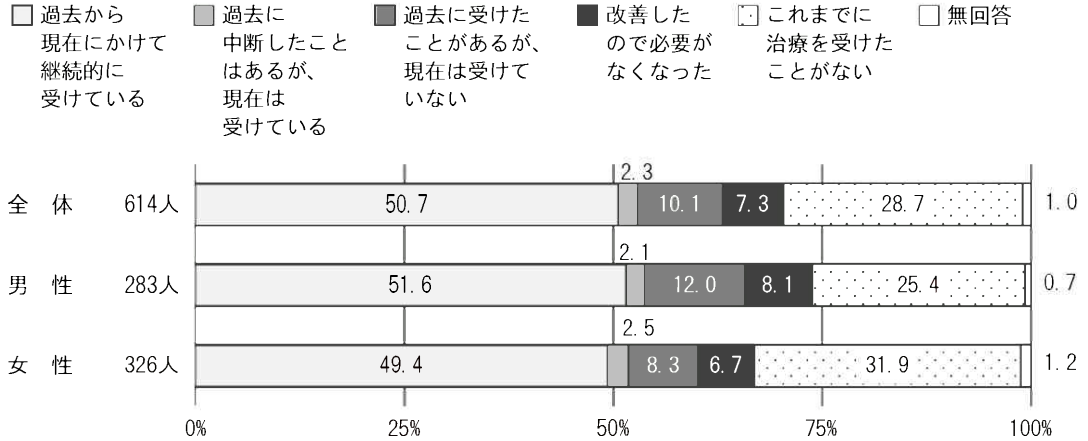
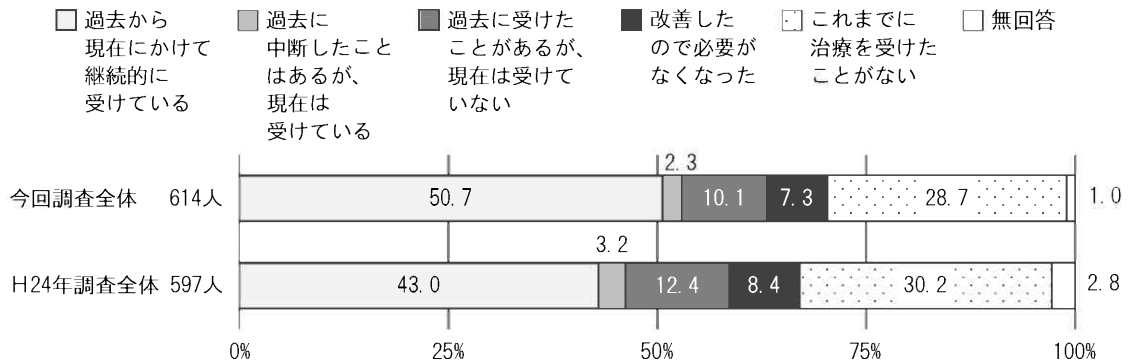
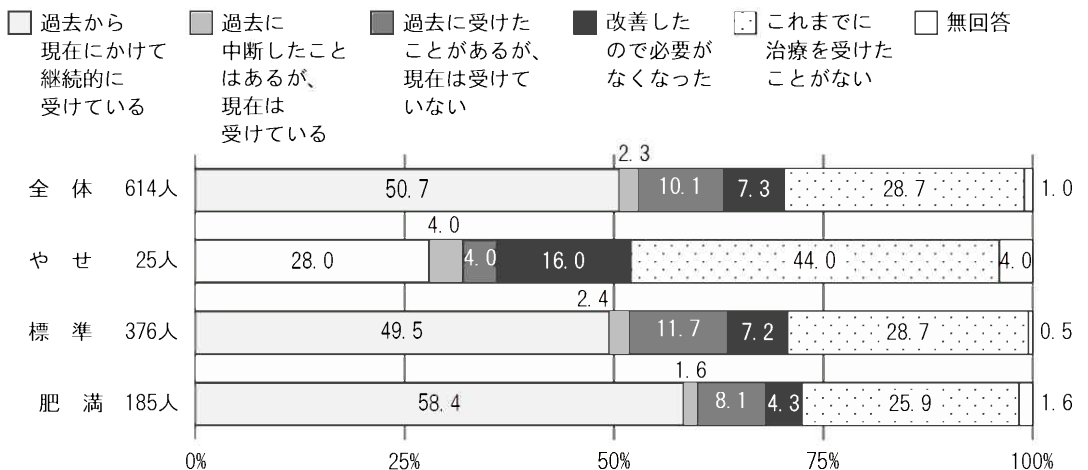


図 49-ウ b. 2 指摘後の治療状況_脂質異常症〔経年比較〕



脂質異常症の治療状況を肥満度別にみると、「過去から現在にかけて継続的に受けている」が「肥満」で58.4%と他の肥満度より有意に高く、「改善したので必要がなくなった」が「やせ」で16.0%と有意に高くなっています。

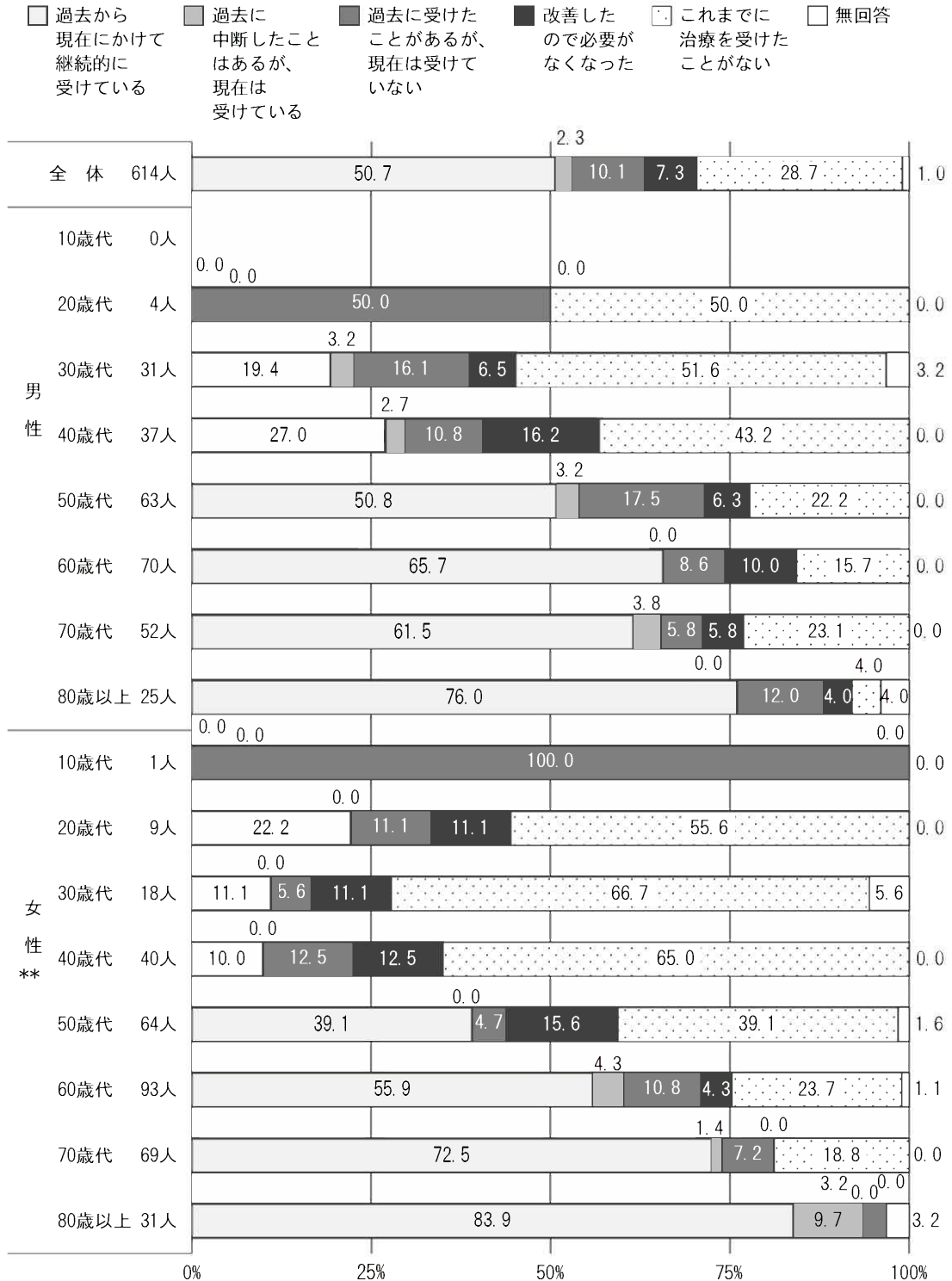
図 49-ウ b. 3 指摘後の治療状況_脂質異常症〔肥満度別〕*



脂質異常症の治療状況を性・年代別にみると、男性では「これまでに治療を受けたことがない」が「30歳代」で51.6%となっており、「過去から現在にかけて継続的に受けている」が「60歳代」で65.7%、「70歳代」で61.5%、「80歳以上」で76.0%となっています。

女性では「過去から現在にかけて継続的に受けている」が「70歳代」で72.5%、「80歳以上」で83.9%と他の年代より有意に高く、「これまでに治療を受けたことがない」が「30歳代」で66.7%、「40歳代」で65.0%と有意に高くなっています。

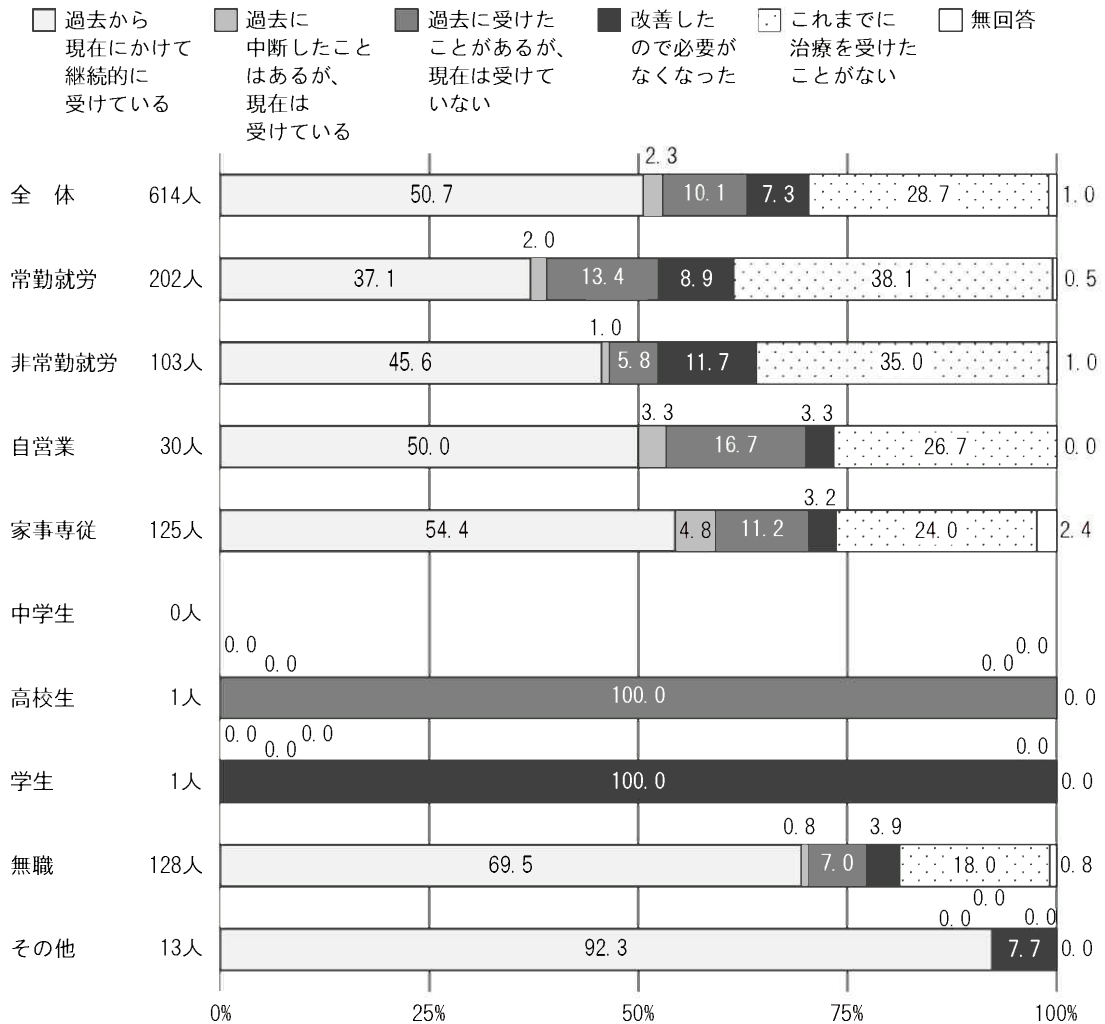
図 49-ウ b. 4 指摘後の治療状況_脂質異常症〔性・年代別〕



Ⅲ 調査結果

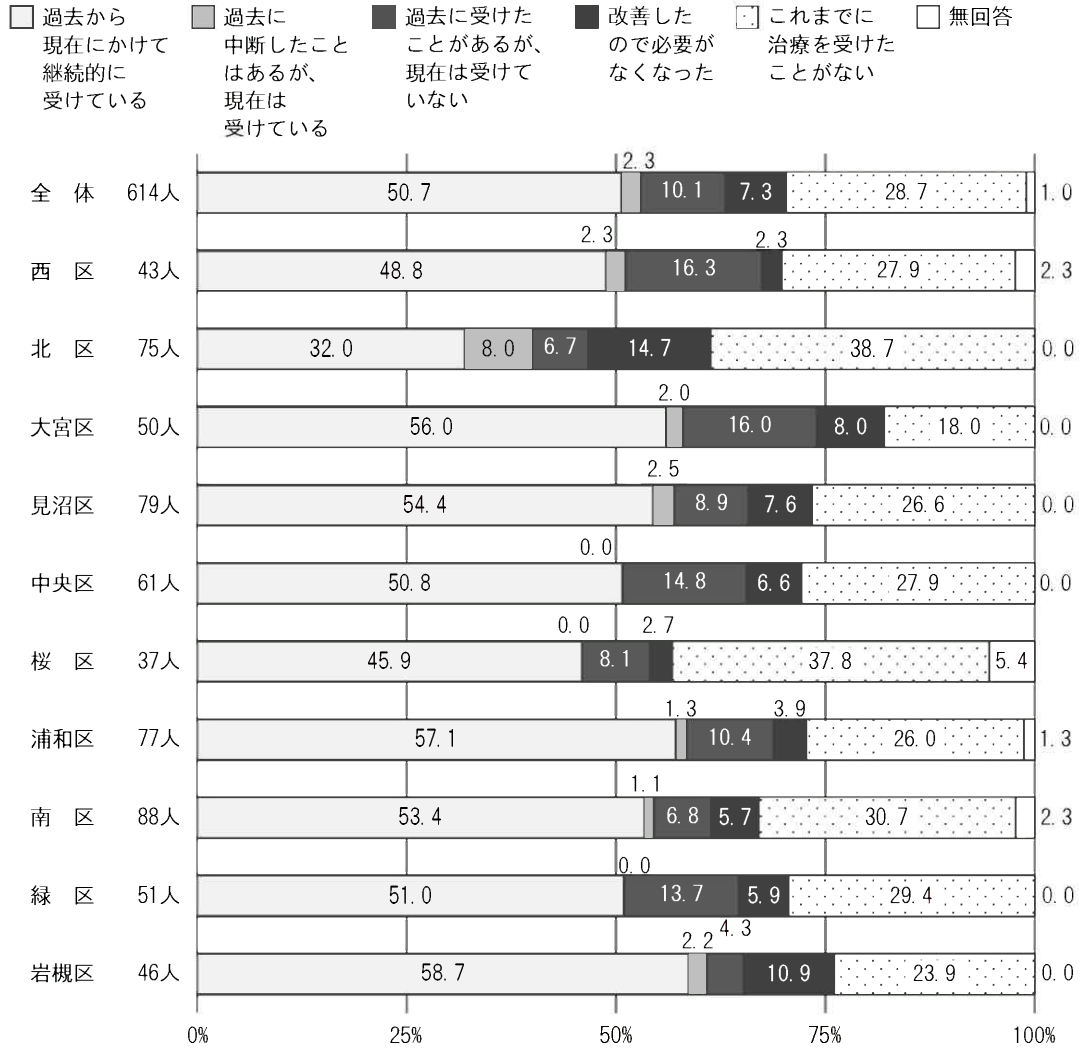
脂質異常症の治療状況を就労状況別にみると、「過去から現在にかけて継続的に受けている」が「無職」で69.5%となっており、「これまでに治療を受けたことがない」が「常勤就労」で38.1%、「非常勤就労」で35.0%となっています。

図 49-ウ b. 5 指摘後の治療状況_脂質異常症〔就労状況別〕



脂質異常症の治療状況を居住区別にみると、「過去から現在にかけて継続的に受けている」が「岩槻区」で58.7%、「大宮区」で56.0%となっており、「これまでに治療を受けたことがない」が「北区」で38.7%、「桜区」で37.8%となっています。

図 49-ウ b. 6 指摘後の治療状況_脂質異常症〔居住区別〕



Ⅲ 調査結果

エ. メタボリックシンドローム

メタボリックシンドロームについては、「ある」が 15.2%、「ない」が 71.1%となっています。
 性別にみると、男性は「ある」が 23.3%と、女性より 14.4 ポイント有意に高くなっています。
 H24 年調査と比較すると、「ある」が 2.9 ポイント有意に増加しています。

図 49-エ a. 1 健診や医療機関での指摘_メタボリックシンドローム [全体・性別] **

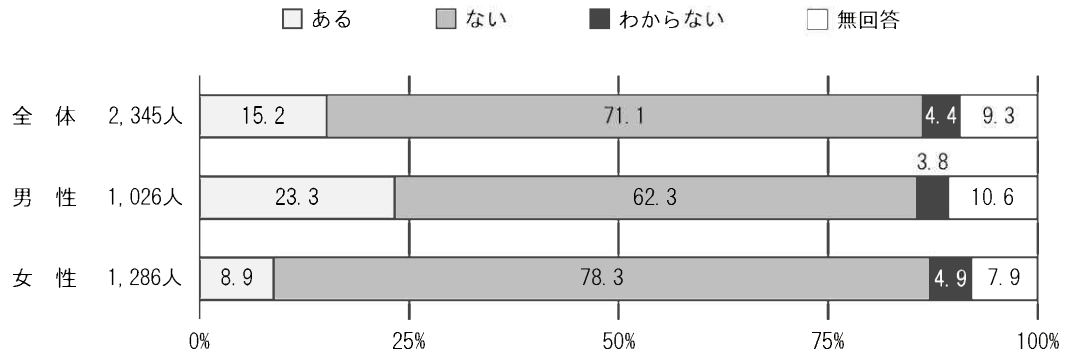
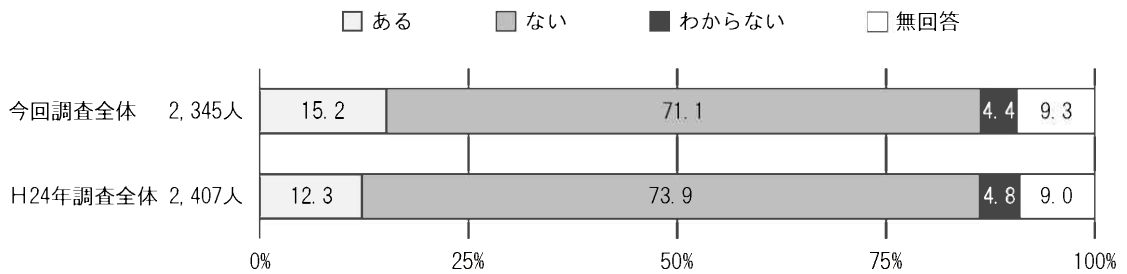
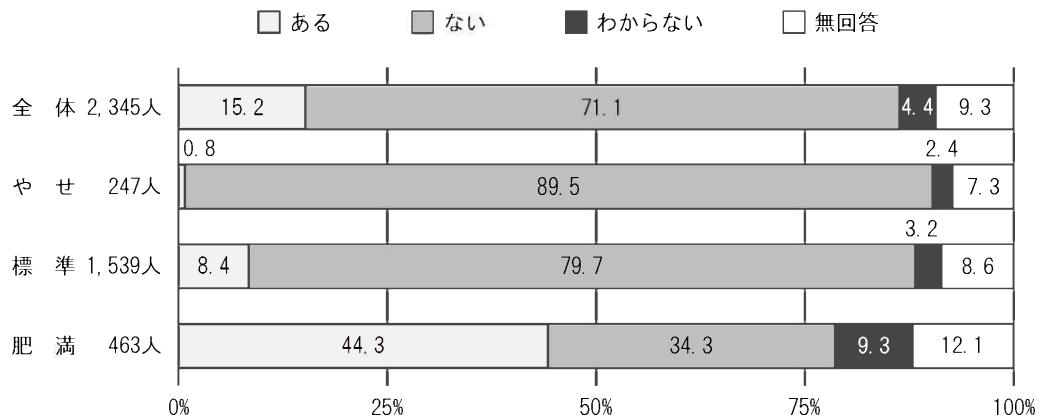


図 49-エ a. 2 健診や医療機関での指摘_メタボリックシンドローム [経年比較] **



メタボリックシンドロームの指摘について肥満度別にみると、「ある」が「肥満」で 44.3%と有意に高く、「ない」が「やせ」で 89.5%、「標準」で 79.7%と他の肥満度より有意に高くなっています。

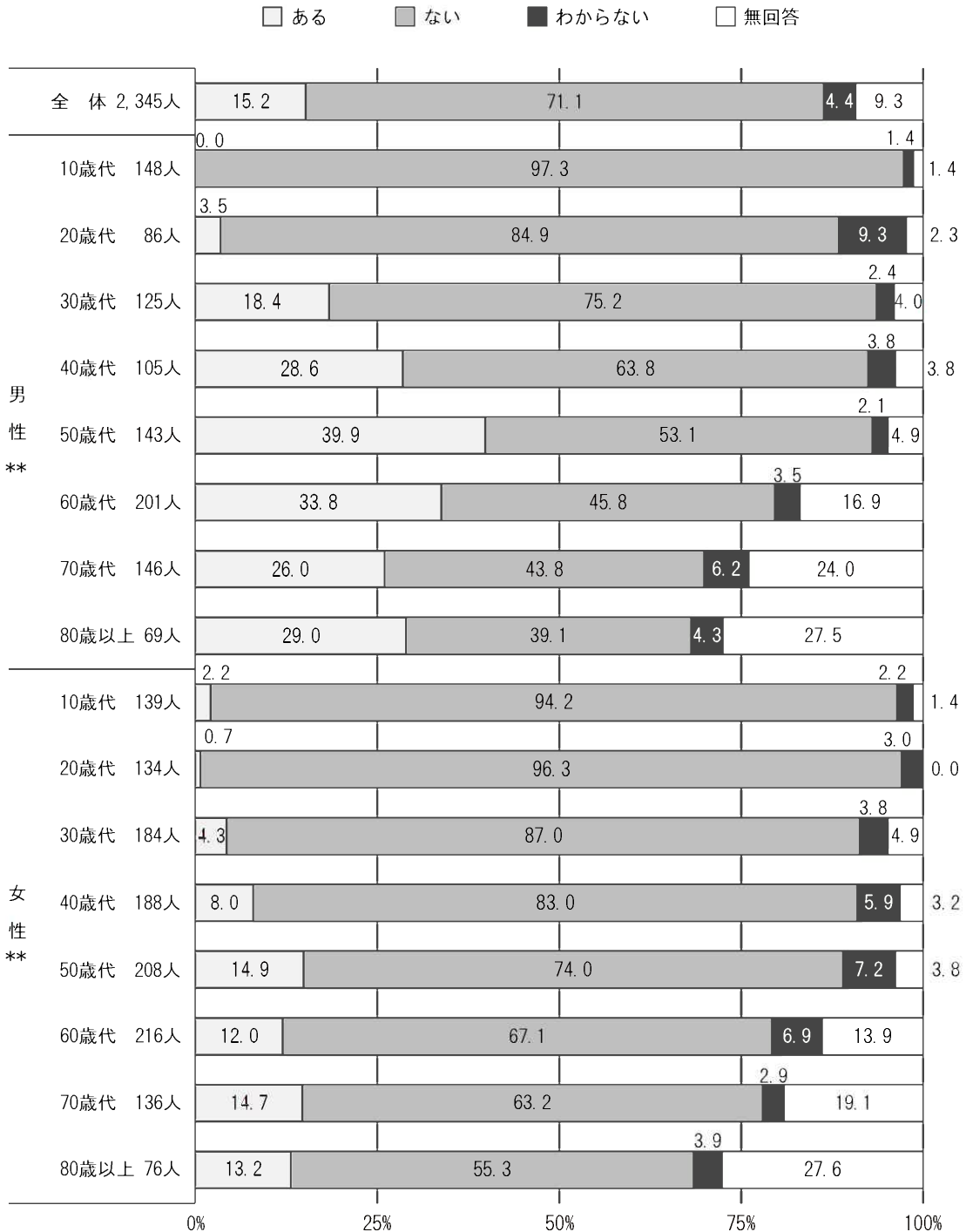
図 49-エ a. 3 健診や医療機関での指摘_メタボリックシンドローム [肥満度別] **



メタボリックシンドロームの指摘について性・年代別にみると、男性では「ある」が「50歳代」で39.9%、「60歳代」で33.8%、「70歳代」で26.0%、「80歳以上」で29.0%と他の年代より有意に高く、「ない」が「10歳代」で97.3%、「20歳代」で84.9%、「30歳代」で75.2%と有意に高くなっています。

女性では「ある」が「50歳代」で14.9%、「60歳代」で12.0%、「70歳代」で14.7%、「80歳以上」で13.2%と有意に高く、「ない」が「10歳代」で94.2%、「20歳代」で96.3%、「30歳代」で87.0%と有意に高くなっています。

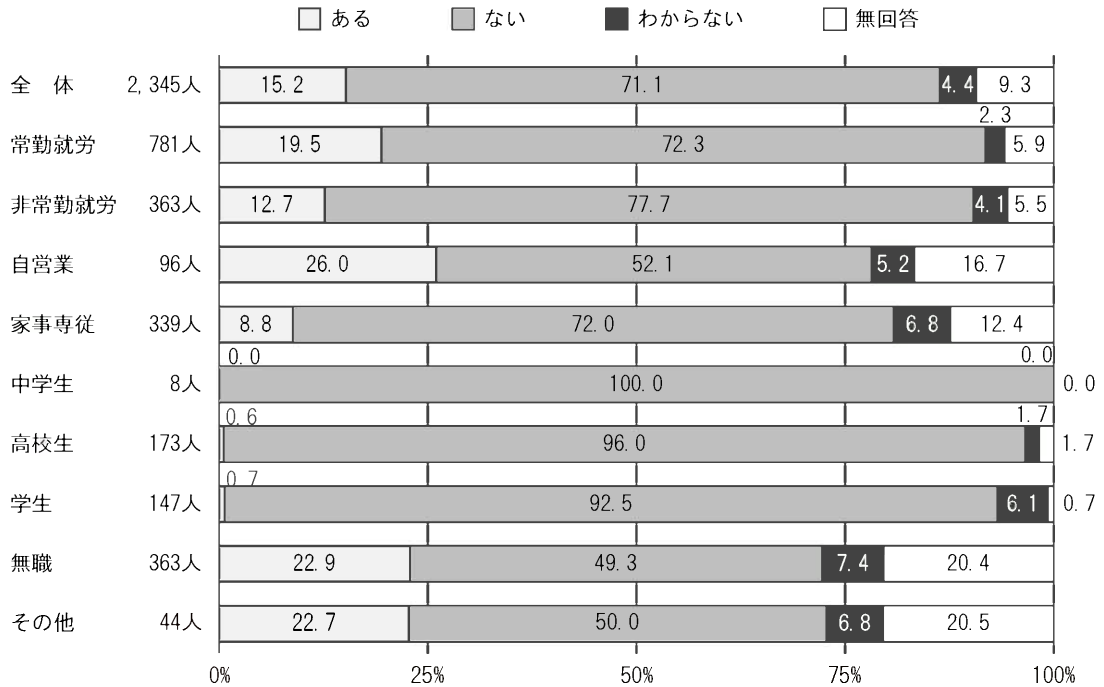
図 49-エ a. 4 健診や医療機関での指摘_メタボリックシンドローム〔性・年代別〕



Ⅲ 調査結果

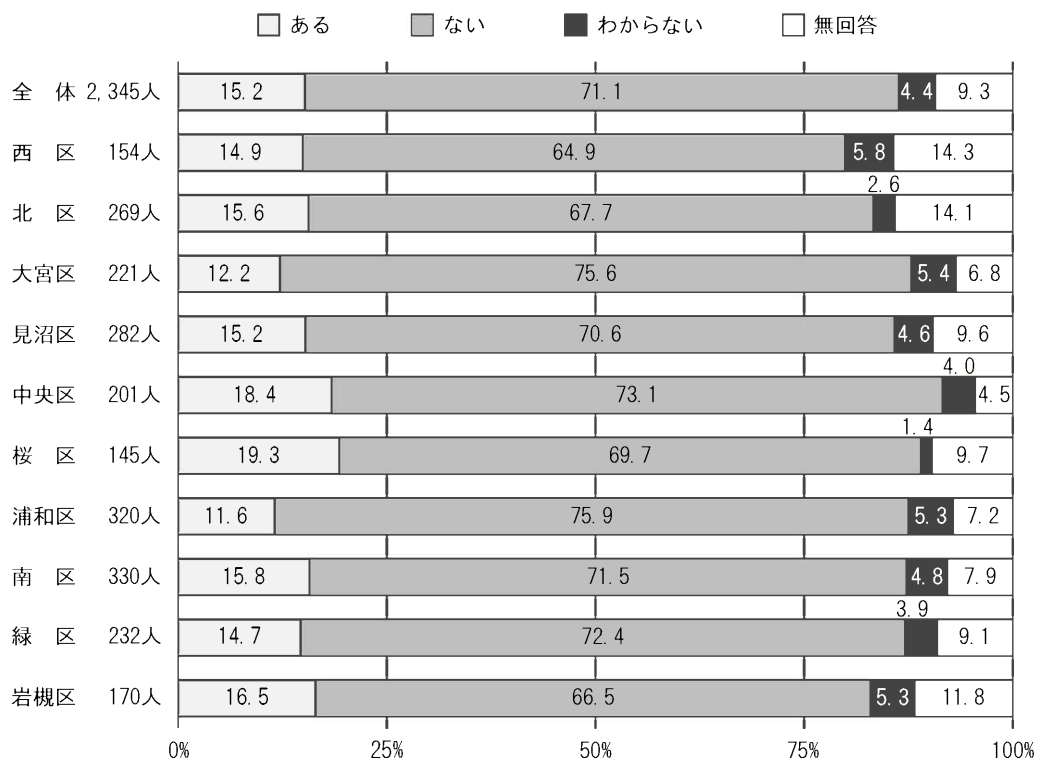
メタボリックシンドロームの指摘について就労状況別にみると、「ある」が「自営業」で26.0%、「無職」で22.9%、「常勤就労」で19.5%と他の就労状況より有意に高く、「ない」が「高校生」で96.0%、「学生」で92.5%と有意に高くなっています。

図 49-エ a. 5 健診や医療機関での指摘_メタボリックシンドローム〔就労状況別〕**



メタボリックシンドロームの指摘について居住区別にみると、「ある」が「桜区」で19.3%、「中央区」で18.4%となっており、「ない」が「浦和区」で75.9%、「大宮区」で75.6%となっています。

図 49-エ a. 6 健診や医療機関での指摘_メタボリックシンドローム〔居住区別〕



治療状況については、「これまでに治療を受けたことがない」が36.8%と最も高く、次いで「過去から現在にかけて継続的に受けている」が32.9%となっています。

治療状況を性別にみると、女性は「これまでに治療を受けたことがない」が46.5%と、男性より13.9ポイント高くなっています。

H24年調査と比較すると、「これまでに治療を受けたことがない」が4.4ポイント増加しています。

図 49-エ b. 1 指摘後の治療状況_メタボリックシンドローム【全体・性別】

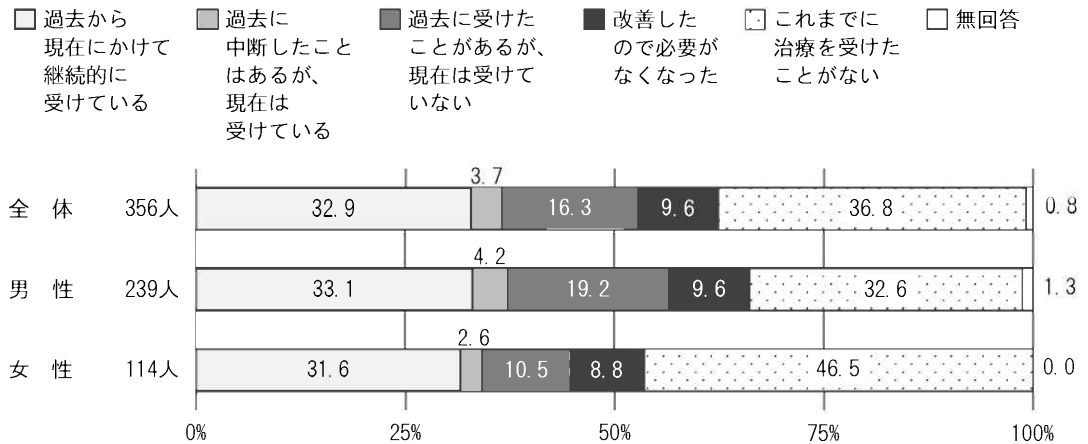
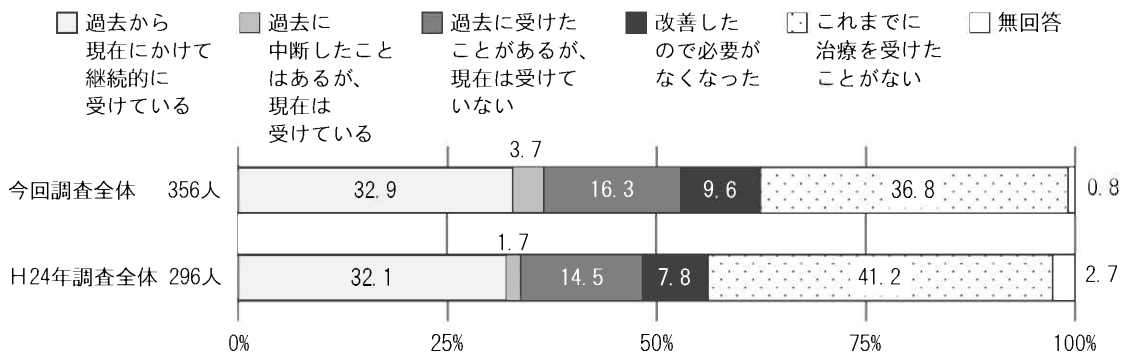
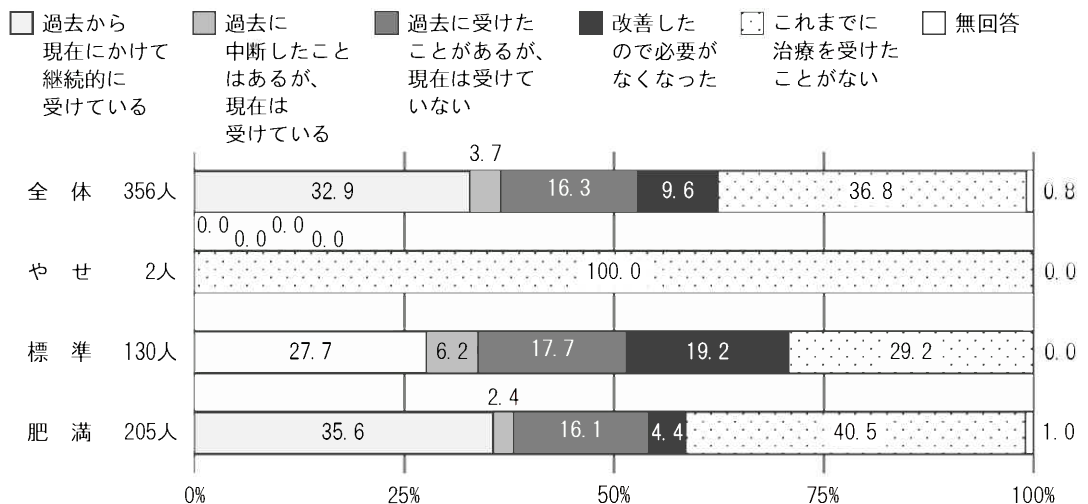


図 49-エ b. 2 指摘後の治療状況_メタボリックシンドローム【経年比較】



メタボリックシンドロームの治療状況を肥満度別にみると、「これまでに治療を受けたことがない」が「肥満」で40.5%と他の肥満度より有意に高く、「改善したので必要がなくなった」が「標準」で19.2%と有意に高くなっています。

図 49-エ b. 3 指摘後の治療状況_メタボリックシンドローム【肥満度別】**

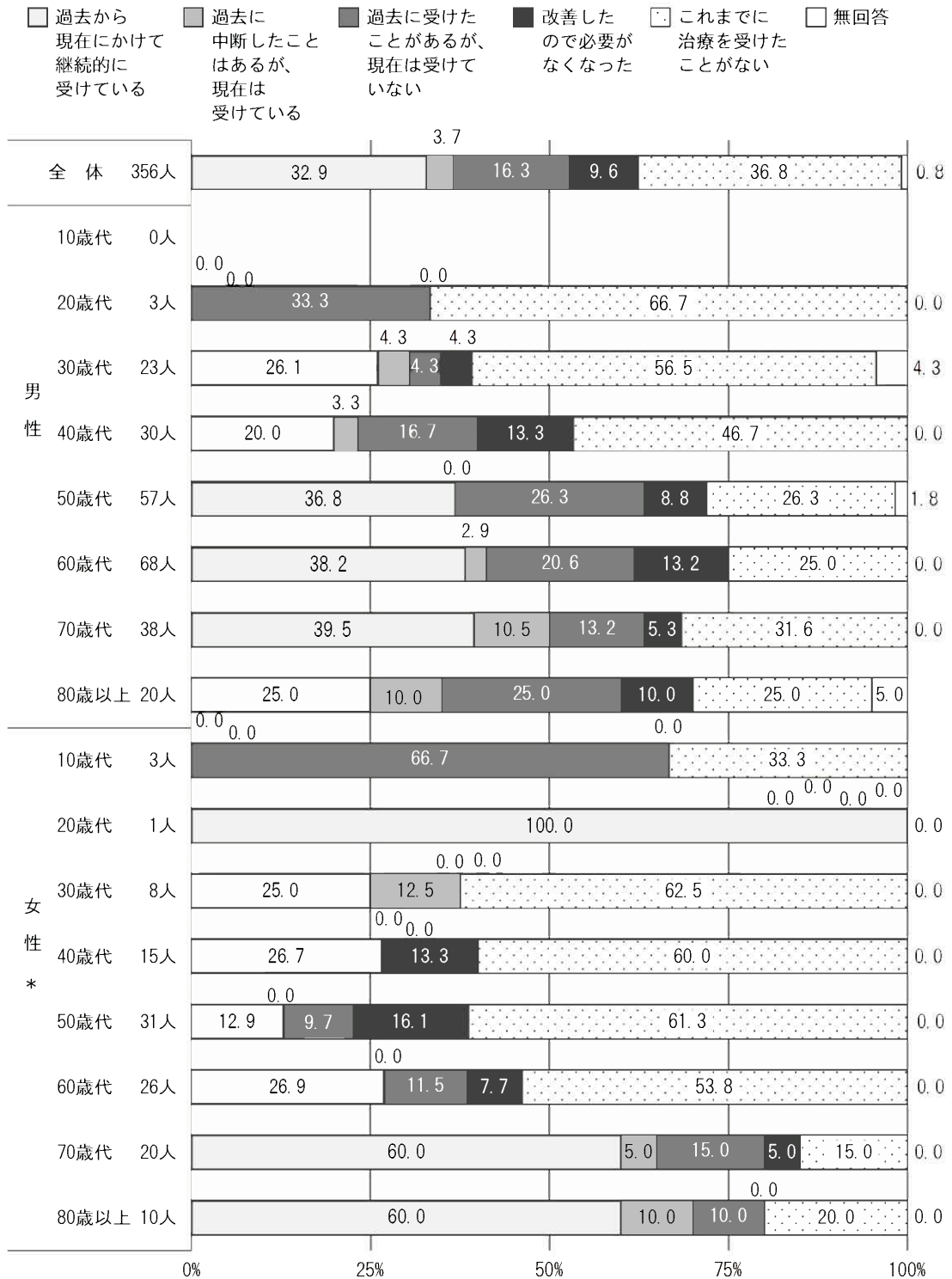


Ⅲ 調査結果

メタボリックシンドロームの治療状況を性・年代別にみると、男性では「これまでに治療を受けたことがない」が「30歳代」で56.5%となっており、「過去から現在にかけて継続的に受けている」が「50歳代」で36.8%、「60歳代」で38.2%、「70歳代」で39.5%となっています。

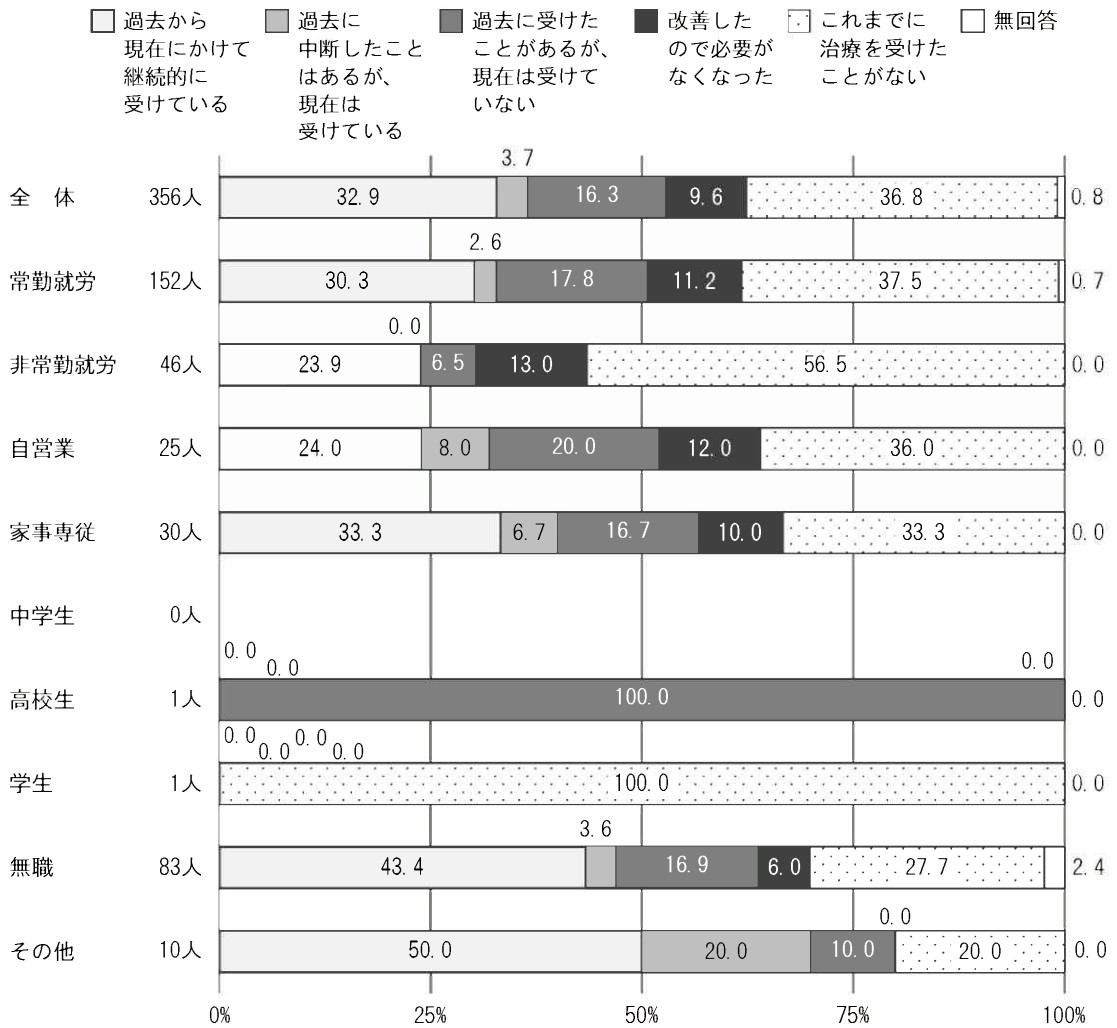
女性では「過去から現在にかけて継続的に受けている」が「70歳代」で60.0%、「80歳以上」で60.0%と他の年代より有意に高くなっています。

図 49-エ b. 4 指摘後の治療状況_メタボリックシンドローム【性・年代別】



メタボリックシンドロームの治療状況を就労状況別にみると、「過去から現在にかけて継続的に受けている」が「無職」で43.4%となっており、「これまでに治療を受けたことがない」が「非常勤就労」で56.5%となっています。

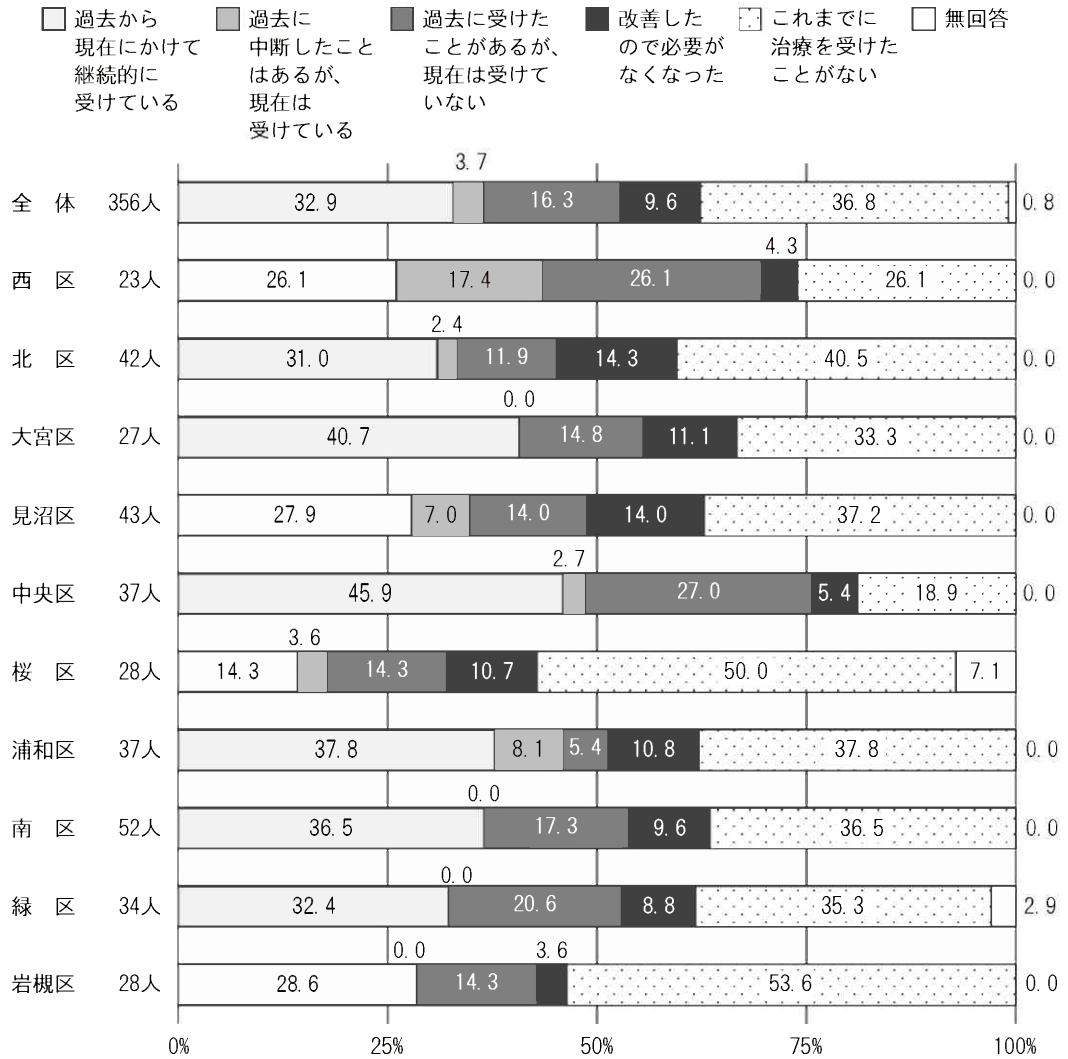
図 49-エ b. 5 指摘後の治療状況_メタボリックシンドローム〔就労状況別〕



Ⅲ 調査結果

メタボリックシンドロームの治療状況を居住区別にみると、「過去から現在にかけて継続的に受けている」が「中央区」で45.9%、「大宮区」で40.7%となっており、「これまでに治療を受けたことがない」が「岩槻区」で53.6%、「桜区」で50.0%となっています。

図 49-エ b. 6 指摘後の治療状況_メタボリックシンドローム〔居住区別〕



(50) 健康寿命とは、「日常的に介護を必要としないで、自立した生活ができる生存期間」のことです。あなたはこの「健康寿命」という言葉を知っていましたか。(〇は1つだけ)

<B : 問 48>

「健康寿命」の認知度は、「言葉も意味も知っていた」が56.7%、「言葉も意味も知らなかった」が14.5%となっています。

性別にみると、男性は「言葉も意味も知らなかった」が17.8%と、女性より5.9ポイント有意に高くなっています。

H24年調査と比較すると、「言葉も意味も知っていた」が26.2ポイント有意に増加しています。

H28年調査と比較すると、「言葉も意味も知っていた」が4.9ポイント有意に増加しています。

図 50.1 「健康寿命」の認知度〔全体・性別〕**

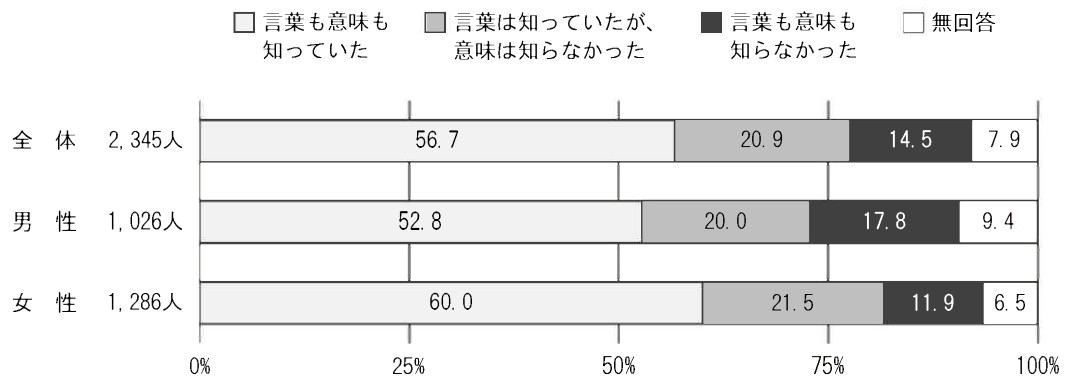
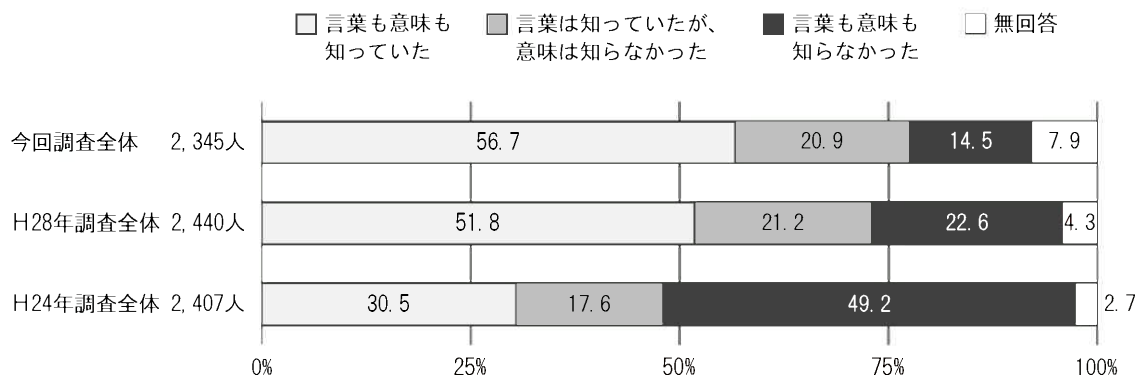


図 50.2 「健康寿命」の認知度〔経年比較〕**



Ⅲ 調査結果

「健康寿命」を知っている割合を年代別にH24年調査と比較すると、男性の30歳代では51.2ポイント増加し、女性の20歳代では46.3ポイント増加しています。

H28年調査と比較すると、男性の30歳代と40歳代、女性の10歳代と40歳代は10ポイント以上増加しています。

表50 「健康寿命」を知っている割合〔経年比較・年代別〕

単位：％、ポイント

項目	H24年調査			H28年調査			今回調査			今回調査－ H24年調査	今回調査－ H28年調査
	言葉も意味も知っていた (1)	言葉は知っていたが、意味は知らなかった (2)	A = (1) + (2)	言葉も意味も知っていた (3)	言葉は知っていたが、意味は知らなかった (4)	B = (3) + (4)	言葉も意味も知っていた (5)	言葉は知っていたが、意味は知らなかった (6)	C = (5) + (6)	C－A	C－B
全体	30.5	17.6	48.1	51.8	21.2	73.0	56.7	20.9	77.6	29.5	4.6
男性計	28.1	18.7	46.8	47.4	22.3	69.7	52.8	20.0	72.8	26.0	3.1
10歳代	16.0	17.6	33.6	30.9	30.2	61.1	45.3	19.6	64.9	31.3	3.8
20歳代	12.0	13.9	25.9	33.7	28.9	62.6	45.3	22.1	67.4	41.5	4.8
30歳代	14.0	14.0	28.0	38.2	22.8	61.0	50.4	28.8	79.2	51.2	18.2
40歳代	16.0	16.0	32.0	35.4	21.8	57.2	54.3	20.0	74.3	42.3	17.1
50歳代	25.8	19.5	45.3	55.2	19.6	74.8	57.3	18.2	75.5	30.2	0.7
60歳代	39.7	22.1	61.8	61.4	20.8	82.2	55.2	18.4	73.6	11.8	-8.6
70歳代	44.3	20.3	64.6	58.4	18.1	76.5	59.6	18.5	78.1	13.5	1.6
80歳以上	41.1	23.3	64.4	54.8	19.2	74.0	52.2	11.6	63.8	-0.6	-10.2
女性計	32.5	16.8	49.3	55.8	20.1	75.9	60.0	21.5	81.5	32.2	5.6
10歳代	26.1	22.5	48.6	42.2	22.4	64.6	51.8	33.1	84.9	36.3	20.3
20歳代	18.7	20.1	38.8	51.5	26.1	77.6	65.7	19.4	85.1	46.3	7.5
30歳代	19.8	13.0	32.8	44.4	25.0	69.4	55.4	22.8	78.2	45.4	8.8
40歳代	25.3	15.7	41.0	45.6	21.0	66.6	52.1	25.5	77.6	36.6	11.0
50歳代	34.2	17.6	51.8	64.6	18.0	82.6	62.0	20.2	82.2	30.4	-0.4
60歳代	46.2	15.3	61.5	70.1	16.3	86.4	69.4	14.8	84.2	22.7	-2.2
70歳代	52.6	17.9	70.5	64.4	18.5	82.9	69.9	14.7	84.6	14.1	1.7
80歳以上	34.9	12.7	47.6	57.5	12.3	69.8	47.4	23.7	71.1	23.5	1.3

「健康寿命」の認知度を性・年代別にみると、男性では「言葉も意味も知っていた」が「70歳代」で59.6%と他の年代より有意に高く、「言葉も意味も知らなかった」が「10歳代」で30.4%と有意に高くなっています。

女性では「言葉も意味も知っていた」が「60歳代」で69.4%、「70歳代」で69.9%と有意に高く、「言葉も意味も知らなかった」が「30歳代」で16.8%、「40歳代」で18.6%と有意に高くなっています。

図 50.3 「健康寿命」の認知度〔性・年代別〕

